



ハーブ通信

2008年

6月号

(第25号)

<http://www.hurp.info>

HuRP 3周年記念イベント開催！

『人権ツアーに行こう！』

—「白鳥事件」、「軍隊のない国家」を歩く—

HuRP は、今年で設立から3周年をむかえ、ここに記念イベントを開くことにいたしました！今年のテーマは『人権ツアーに行こう！』と題しまして、人権を尊重する司法のあり方、そして人権の前提となる平和の構築とは何かを考えるイベントにしたいと思います。

第1部「白鳥事件、白鳥決定」

「再審（確定した判決について審理のやり直しをすること）制度においても『疑わしいときは被告人の利益に』という刑事裁判の鉄則が適用される」という判断をもたらした「白鳥決定」。その後の多くのえん罪事件に再審の道を拓き、複数の無罪判決を得るきっかけとなったこの決定が、現在の司法になにを語りかけてくるのかを考えます。

第2部「もっと知りたい！軍隊のない国！」



世界には「軍隊のない国」があることを

ご存じですか？それも27か国もあるのです！

「軍隊がない」とは、どういうことなのでしょう。

展示パネルや大使館訪問記を見たり、

大使館の方のお話を聞きながら、

一緒に考えてみませんか。

◆「軍隊のない国家」を歩く

前田朗さん（東京造形大学教授、『軍隊のない国家』著者）講演

◆「軍隊のないわたしの国」

コスタリカ共和国大使館より参加予定

その他、現在交渉中！

各国のパネル展示もあります！

日時：7月27日（日）

12:30開場、13:00開演

場所：南大塚ラパスホール（大塚駅南口）

入場料：500円（HuRP会員、学生は300円）

さらに楽しい情報がホームページにありますのでぜひご覧ください！

<http://www.hurp.info/event/index.html#200807>

「軍隊のない国家」を訪ねる サンマリノ大使館訪問

2008年6月11日

軍隊を持たないということはどういうことなのでしょう。サンマリノ共和国特命全権大使のマンリオ・カデロ閣下に自国に軍隊のないことについてお話を聞いてきました。

サンマリノ共和国は周囲をイタリアに囲まれた人口約3万6千人（千代田区の人口は約4万4千人）、面積約64平方km（世田谷区と同じくらい）の世界で5番目に小さな国です。



港区麻布にあるサンマリノ大使館

◆ 軍隊を持たない歴史

——サンマリノが軍隊を持たないことになった、歴史、経緯についてお聞かせください。

大使 サンマリノは、イタリアの歴史と深い関係があります。イタリアはかつて複数の王国が領土を拡大しようとして摩擦や戦争を繰り返していました。これらの王国や地域共同体は「ファミリー」でした。サンマリノにはファミリーはありませんでした。サンマリノは国ができた当初から共和国 republic でした。つまり、国民 public が王様だったわけです。デモクラシー democracy（民主主義）という言葉はギリシャ語で国民の力という意味です。サンマリノは democratic で republic なのです。共和国であるサンマリノは、自分の国を守るため以外には戦いませんでした。

◆ 戦争の根幹

しかし、20世紀になってからの戦争はばかばかしいと思います。これだけ科学が進歩して、人類が火星にすらいけるようになるのかというこの現代で、何故戦争をしなければいけないのか。話し合いをすれば解決できるではないですか。

現在では、1国が国際政治を無視して生きていくことは出来ません。アメリカでさえ、世界と協調し

なければ生きていけないのです。だから、孤立化するような強引なことは誰もしたくないのです。世界はみんな繋がっているのです。みんなお互いが必要なのですから、平和で、お互いに協力していけば、戦争はなくなってしまいます。

世界で一番使われているお金は、軍事費です。信じられない。そのお金を違う目的に使えば、教育を受けられない子どももいない、病気の人も医者に診てもらえる、そんなパラダイスな世の中になるでしょう。世界では様々な問題が未だに山積しています。食べ物がない、お水がない、色々なものがない。何故かと言えば、戦争のための武器を買わなければいけないからです。

——イタリアとの関係はどのようにとらえていますか。

大使 イタリアは様々な歴史的経緯もあり、1700年前から共和国であるサンマリノを、尊敬しています。また、お互いがお互いを尊重し合い、必要としています。

——かつてのローマとイタリアとは違いますか。

大使 まったく違います。ローマはローマの文化を他の地域に広げ、それを標準とさせました。ローマはとても進んでいたのです、だから必要としていたところはあったかと思いますが、多くの国の文化を潰すことにはなつたと思います。

いまはヨーロッパが EU で手を結んでいます。文化を尊重しあっているから上手く行っているのです。経済的に強力ですから。

——現在の日本について、何か感じていらっしゃることはありますか。



マンリオ・カデロ特命全権大使

大使 私が日本で一番気になるのは、自殺が多いということです。マニュアル主義が問題の根底にあるのだと思います。私は自殺を減らすという運動に参加しています。人間はロボットじゃありません。フィーリングがある。だから、マニュアルに縛られずに行動することが大切なのです。1年間で3万6千人です。これはサンマリノの人口と等しいのです。恐ろしいことです。

——サンマリノには警察はいるのですか。

大使 います。国全体で180人ですが。サンマリノの刑務所には7部屋しかありません。いつもガラガラです。

最後にカデロさんは「戦争も武器も暴力も大嫌いです。戦争は人間の欲張りの元です」と締めくくりました。争いの中にあつて、戦うことの愚かさを見てきたサンマリノの歴史を垣間見た気がしました。

陸上自衛隊広報センター見学

2008年6月7日

陸上自衛隊広報センターに行ってきました。この施設は、陸上自衛隊の総合的な広報施設として、朝霞駐屯地に隣接したところにあります。

施設の中は、2階から見学するしくみになっていて、自衛隊の歩みを紹介するパネルから、オリンピックやカンボジアでの活動などの紹介、資料室があります。

1階に降りると、シミュレーターや制服試着コーナー、戦車とヘリコプターの実物展示があります。

建物の外には、陸上自衛隊の保持している車両のいくつかが展示してあります。

当日は野外でカレーをふるまうイベントもあつて、子連れの家族連れでにぎわっていました。どちらかというと、子ども向けの施設ともいえるでしょう。

カレーを作っているところを食い入るように真剣に見入る女の子と、「つままない」ともらしていた男の子が、印象的でした。子どもは子どもの見かた



でこの施設を見ていると思いました。

地震や洪水にみまわれた土地へ災害派遣に赴くことは大切ですが、かように立派な武器、兵器がはたして必要なのでしょうか。

自分に家族がいて、この近所に住んでいたら、どうしているだろうかと、考えさせられました。



来ていた親御さんには、「おもしろかったね」でおわりにせずに、「あらそい、戦争はこれこれこういうことで、いけませんよ」など、なにがしか考えてもらう言葉をかけてほしいと思いました。

(T本)

カラダに平和を 自炊のススメ

25 ツナキムチ

6月半ばに韓国を訪問する機会に恵まれて、観光や学習と充実した週末になりました。

その韓国で最終日に食べたのり巻きの具がツナにキムチを和えたもので、とてもおいしく、さっそく試してみようと思いました。

材料：ツナ缶、キムチ、ごま油、韓国のり

手順：

- 1 ツナ缶を開けて、油を切っておく。
- 2 キムチを細かく刻む。
- 3 キムチとツナを和えて、ごま油をひとたらし、韓国のりをちぎってふりかけて、できあがり。



おいしい！サラダにおにぎりの具、お酒のおつまみにも良さそうです（わたしは家では飲まないのですが）。ところで、こののり巻きは日本のアニメのパッケージで売られていましたが、中身も日本の人が企画したのか、それとも韓国ではメジャーな食べ方なのでしょうか？ちょっと気になりました。

いよいよイベント近づいてまいりました。タイトルは『人権ツアーにいこう！』。人権と平和について考える楽しいイベントですので、ぜひ足をお運びください！

(写真は川越街道沿い（志村坂上）に咲いていたものです)

(T本)



特定非営利活動法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP: ハーフ)
Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231
e-mail hurp@hurp.info HP <http://www.hurp.info/>